

東筑校歌の依頼から完成までの昭和27年5月～10月の折口信夫の状況

—林滋先輩(53期)の調査(罫線間の内容)に書簡集などからの関連記事を追加した—

昭和26年6月 腰の痛み烈しく「日本紀会」「とりふね歌会」など床についたまま講じる。

昭和27年2月 神経痛のため慶應病院に一夜入院。コーチゾンの注射をうけた。

3月 下妻第二高等学校校歌制定

昭和27年4月 「(東筑高校の)原勝文(32期)教諭らの努力で作詞を国学院大学の折口信夫(歌人、釈迢空)教授に依頼することになり、昭和27年4月下旬、原教諭は作詞の資料を携えて上京、木屋瀬出身の放送作家伊馬春部(鞍手中学卒)氏の尽力を得て作詞が進められた。(東筑高校百年誌より)

昭和27年5月 「この頃、神経痛でよわって居ましたが指圧で、どうやら良くなりそうです」
(5月1日の折口和夫氏宛の書簡で)

昭和27年6月 慶應病院において健康診断を受けたが、内臓に欠陥なしと診断される。
この頃から指圧術の治療を受けるようになる。

昭和27年6月6日 東筑高校の舟越校長が、作詞依頼の挨拶に折口信夫宅を表敬訪問。

昭和27年7月5日、軽井沢へ(岡野弘彦同行)。伊馬春部、池田弥三郎、三隅治雄ら上野駅に見送る。
6日、室生犀星宅へ挨拶。

2～3日後、午前中、『日本古代抒情詩集』口述筆記。午後、犀星が来る。

その後しばらく、午前中、口述筆記。午後、散歩。

(健康は優れない、幻視を感じる)

17日、高橋金之助(理髪屋)が来て散髪(2泊)

19日、高橋と入れ替えに、本多来世子来訪(3泊)

月末、角川源義来訪(『古代研究』出版の件)、共に堀辰雄宅を訪問。

(『日本古代抒情詩集』口述筆記は大体終る)

昭和27年8月 8月に入り、論文「民族史観における他界観念」の執筆にとりかかる。

○その口述がいつものように、すらすらと進まない。いままでの口述は、私書き取れる程度の同じ速度を保って、なだらかに話をされるのだが、こんどは、その速度にむらがあり、ところどころで、3分、5分とことばが途切れ、…(中略)先生の表情は苦しそうで、眉のあたりに重い皺が刻まれていた。

(岡野弘彦『折口信夫の晩年』中央公論社1977)

○「民族史観における他界観念」

最後の論文「民族史観における他界観念」は、私が口述を筆記したのは一部分に過ぎず、大部分は自筆によって成ったのだが、論文の内容は難解で、筆記していてもその論が何を狙っているのか、問題の核心がなかなか見えてこなかった。…(中略)この論文は、夏休みに借りた軽井沢の家の暑い二階で、最悪の健康状態の日々に書いたり口述したりして、苦しみに苦しんで出来たのであった。

(岡野弘彦『折口信夫の記』中央公論社1996)

昭和27年 8月1日、池田弥三郎が来る。

3日、三隅治雄が来る。

4日、池田弥三郎と三隅治雄帰京。

22日、上林温泉へ1泊。(東京から伊馬春部、池田弥三郎、戸板康二、途中、中村浩合流)

25日、戸板康二帰京。

26日、伊馬春部と池田弥三郎帰京。

昭和27年 9月1日、軽井沢から帰京。

3日、箱根へ(17日まで、山荘「叢隠居」滞在)。(岡野は17日から4日間帰省)

19日、午前、講義(岡野の代講)。

午後、歌舞伎座と新橋演舞場を観覧(池田弥三郎同行)

20日、國學院で2時間の講演(体調悪く1時間で中断)。その後、NHKへ(放送収録)

21日、疲れたので休むと言って、床につく(1日静養)

22日、自宅で倒れ、水神病院河合医師の往診を受ける。(顔がひきつり、倒れたまま)

23日、午前、河合医師往診。(血圧 170)

24日、25日、26日の毎日、河合医師往診。

28日、軽い発作。(顔は能面、右頬・唇がひきつり、言葉がはっきりしない)

29日、河合医師往診。

以降～年末、講義も殆ど休講にし、静養。

河合医師の他、慶応病院から専門医が往診。

昭和27年 10月4日、「日本民俗学会第4回年会」の講演(大阪)を柳田國男に交代してもらう。

11日、血圧 180。

昭和27年 10月～11月? 「心配させると悪いから、其のままにして置いたけれど、脳貧血に似た病気をおこして、2ヵ月寝てみました。」(12月19日付の折口和夫宛の書簡)

伊馬春部の日記……棧比呂子氏が部分転記したもの。

10月23日、出石へ、東筑校歌の件。

26日午前中、出石に伺い出来上がった東筑校歌の事、その解説などに
付いての話を伺ふ。

27日、朝、東筑校歌の清書をなし速達書留にておくる。

※ 校歌原稿が東筑高校に到着したのは、10月28日か29日と思われる。
引続き、信時潔へ作曲依頼に行き、楽曲完成後、11月22日に制定された。

※ 同年 12月 1日 三戸高校校歌制定
翌年 2月 1日 鳥羽高校校歌制定
2月 25日 茂木高校校歌制定